

高等学校 令和8年度（3学年用） 教科 保健体育 科目 スポーツVI

教科： 保健体育 科目： スポーツVI 単位数： 2 単位
 対象学年組： 第 3 学年 1 組～ 6 組

教科担当者：

使用教科書：（ 現代高等保健体育（大修館書店） ）

教科 保健体育 の目標：

- 【知識及び技能】健康の保持増進のための知識・技能を身に付ける。
- 【思考力、判断力、表現力等】生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、自己の考えたことを他者に伝えている。
- 【学びに向かう力、人間性等】自他の健康・安全に対する意識および態度、公正、協力、責任、他者の尊重を身に付ける。

科目 スポーツVI の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
体づくり運動の推進及び発展に向けた多様な関わり方を理解するとともに、技能を身につける。	体づくり運動における自他や社会の課題を発見し、思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。	体づくり運動の学習に主体的に取り組むとともに、協力、責任、参画、共生などに対する意欲を高め、健康・安全を確保して、生涯を通してスポーツを継続するとともにスポーツの推進及び発展に寄与する態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	<p>体育の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、主体的、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、健やかな心身の育成を資するとともに、生涯を通してスポーツの推進に寄与する資質・能力を育成することを目指す。</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツVIを多様実践するための事項を理解し、運動の行い方を身に付けることができるようになる。 ・仲間と学びあう場面で、動きの見本や効果的な行い方のポイントを身体及び言語で他者に表現できるようにする。 ・体力の程度、性別や目的、障害の有無など様々な違いを超えて、スポーツを楽しむために調整し合意したマナーを実践できるようにする。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・動きの改善点や、効果的な改善策について分析したことを、根拠を示し伝えることができる。 ・仲間との話し合いの中で、体力の程度や性別等の違いを超えて、合意を形成するための調整の仕方を見付け、仲間に伝えることができるようになる。 ・参加者に応じた体力の高め方を計画することができるようにする。 ・多様な参加者ととも運動するための調整の仕方や運営方法を提案することができるようにする。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生涯にわたってスポーツを実践していく際の協力、責任、参画、共生などに対する意欲を高めることができるようにする。 ・スポーツの推進及び発展に寄与する自己の姿勢や他社、地域社会との関わり方などのスポーツの価値を高めることに主体的に取り組むことができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・目的に応じた心身の気付きや交流を深めるための運動の仕方。 ・ライフステージ及びライフスタイルに応じた体操や運動の計画の立て方 	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツVIを多様実践するための事項を理解している。 ・動きの見本や効果的な行い方のポイントを身体及び言語で他者に表現できる。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参加者に応じた効果的な体力の高め方を計画している。 ・多様な参加者と共に運動するための調整の仕方や運営方法を提案している。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ルールやマナーを大切に、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとしている。 	○	○	○	22
2 学 期	<p>体育の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、主体的、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、健やかな心身の育成を資するとともに、生涯を通してスポーツの推進に寄与する資質・能力を育成することを目指す。</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツVIを多様実践するための事項を理解し、運動の行い方を身に付けることができるようになる。 ・仲間と学びあう場面で、動きの見本や効果的な行い方のポイントを身体及び言語で他者に表現できるようにする。 ・体力の程度、性別や目的、障害の有無など様々な違いを超えて、スポーツを楽しむために調整し合意したマナーを実践できるようにする。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・動きの改善点や、効果的な改善策 	<ul style="list-style-type: none"> ・目的に応じた心身の気付きや交流を深めるための運動の仕方。 ・ライフステージ及びライフスタイルに応じた体操や運動の計画の立て方 	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツVIを多様実践するための事項を理解している。 ・動きの見本や効果的な行い方のポイントを身体及び言語で他者に表現できる。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参加者に応じた効果的な体力の高め方を計画している。 ・多様な参加者と共に運動するための調整の仕方や運営方法を提案している。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ルールやマナーを大切に、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとしている。 	○	○	○	24

期

について分析したことを、根拠を示し伝えることができる。

- ・仲間との話し合いの中で、体力の程度や性別等の違いを超えて、合意を形成するための調整の仕方を見付け、仲間に伝えることができるようにする。
- ・参加者に応じた体力の高め方を計画することができるようにする。
- ・多様な参加者とともに運動するための調整の仕方や運営方法を提案することができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】

- ・生涯にわたってスポーツを実践していく際の協力、責任、参画、共生などに対する意欲を高めることができるようにする。
- ・スポーツの推進及び発展に寄与する自己の姿勢や他社、地域社会との関わり方などのスポーツの価値を高めることに主体的に取り組むことができるようにする。

--	--	--	--	--